

会 議 議 事 録

| | | |
|---|---------|--|
| 1 | 会議名 | 令和2年度長岡市教育委員会事務評価委員会 |
| 2 | 開催日時 | 令和2年7月3日（金）午後2時から午後3時10分まで |
| 3 | 開催場所 | さいわいプラザ 4階 教育委員会会議室 |
| 4 | 出席者名 | <p>（委員）</p> <p>熊倉委員長 渡辺副委員長 高野委員</p> <p>（説明のために出席した職員）</p> <p>金澤教育長 小池教育部長 水島子ども未来部長</p> <p>水島教育総務課長 吉田教育施設課長補佐 笠井学務課長</p> <p>中山学校教育課長 神林学校教育課主幹兼管理指導主事</p> <p>丸山学校教育課主幹兼管理指導主事</p> <p>涌井学校教育課主幹兼管理指導主事</p> <p>佐藤中央図書館長 小熊科学博物館長 田中子ども・子育て課長</p> <p>長谷川保育課長</p> <p>（事務局）</p> <p>植村教育総務課長補佐 内藤教育総務課庶務係長</p> <p>本田教育総務課主任 五十嵐教育総務課主任</p> |
| 5 | 欠席者名 | 遠藤教育施設課長 |
| 6 | 議題 | <p>(1) 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について</p> <p>① 教育委員会会議の開催及び審議状況等について</p> <p>② 教育委員会における事務の点検・評価について</p> <p>(2) その他</p> |
| 7 | 審議結果の概要 | 資料に基づき、令和元年度に教育委員会が実施した各種事業等について、担当課長が委員に説明し、委員からの質問に回答した。 |

| 8 審議の内容 | |
|----------|--|
| 水島教育総務課長 | 1 開会 |
| 金澤教育長 | 2 教育長あいさつ |
| 水島教育総務課長 | 3 事務評価委員紹介 |
| 水島教育総務課長 | 4 事務局職員紹介 |
| 熊倉委員長 | 5 議事 |
| | (1) 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について |
| | ① 教育委員会会議の開催及び審議状況等について |
| | ・ 資料に基づき事務局が説明 |
| | ・ 質疑応答 |
| 高野委員 | (意見) 事務評価委員の役割は、効果的な教育行政の推進を図るためにどうしたらよいかという観点で考え、点検・評価を行うことであると考えている。つまり、PDCAサイクルを繰り返しながら、どうすれば効果的な教育行政の推進が図られるのかを考えることである。しかし、報告書には、前年度の取組、成果及び今後の取組の二本立てで書かれているが、前年度と今年度の取組の比較がされていない。また、成果及び今後の取組に記載された内容については、7, 8割が昨年度の報告書と同じものとなっている。これでは、効果的な教育行政の推進が図られているかを評価することが難しい。報告書には、変化のあった取組や成果をピックアップして記載したほうがよいのではないかと。また、成果については、すべて数値で計れるわけではないが、取組を通じてどのような成果があり、今後どのように取り組むかといったPDCAサイクルを意識した記載が少なく、抽象的な表現が多い印象がある。力を入れて様々な取組をしていることが報告書から伝わりづらいのはもったいない。記載方法の見直しを図ると本当の意味で取組や成果が伝わるのではないかと。 |
| 小池教育部長 | (回答) 委員のご指摘は、定性的な表現が多いため内容が抽象的であるということだと認識している。取組の効果を高めていくということであれば、前年度に指摘されたことを受けて今年度はどのように取り組んだのかということが重要になる。今後は、前年の指 |

| | |
|------------------|--|
| <p>金澤教育長</p> | <p>摘を受けてどのような改善を図ったのかという点に着目して報告書を作成したい。</p> <p>(回答) 点検・評価の基となる教育振興基本計画自体に目標値が定められておらず、また、教育振興基本計画とリンクしている長岡市総合計画にも明確な目標値がない。そのため、教育振興基本計画の内容も抽象的なものとなり、評価についても数値を示して成果を記載することが難しい部分がある。なお、現在の教育振興基本計画は今年度が最終年度であり、昨年度策定された教育大綱にリンクする形で新たな教育振興基本計画の策定を進めている。教育は数値で評価できない部分があり、むしろ数値で評価しないほうがよい点もあるが、数値で表せるもの、客観性を示すことができるものについては、新たな教育振興基本計画に数値を盛り込むことを考えている。今後の評価については、PDCAサイクルを回しながら行いたい。また、報告書の記載内容の7、8割が昨年度と同じような文言であることについては、報告書の作成にあたり、初めて報告書を見る方にもこの一冊で長岡市の教育の全体像をつかむことができるようにする必要があると考えている。そのため、大きな変化が見られない取組であっても記載するようにしている。</p> <p>② 教育委員会における事務の点検・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に基づき事務局が説明 ・ 質疑応答 <p>【1 郷土愛の醸成による人材の育成】</p> <p>質疑なし</p> <p>【2 子ども・子育て支援の充実】</p> |
| <p>渡辺副委員長</p> | <p>(意見) ままリラの延べ利用者人数が記載されているが、数字だけでは対象者にとって、本当に充実したサービスで満足するものであったかわかりにくいと感じた。成果及び今後の取組欄に説明を補足をしたらどうか。利用者人数が予想より多かったのか、少なかったのか記載があってもよい。</p> |
| <p>水島子ども未来部長</p> | <p>(回答) ままリラ等の相談件数については、数字が意味するものが大きい。数字だけがすべてではないが、施策として実施しているからにはより多くの人に利用してもらいたいと考えている。報告書の表現については、意見を踏まえて検討したい。</p> |

| | |
|-------------|--|
| 熊倉委員長 | (意見) 潜在的、顕在的な要望に対する数値に対して、どのくらいの満足を得られたかのように、記載された成果が数値に表れていることがわかるとよいと感じた。また、継続的な事業であるため、利用者数の増減や満足度の経年変化が報告書に記載されているとよい。 |
| 高野委員 | (質問) 母子保健推進員による妊婦、赤ちゃん訪問活動 3,233 件について、昨年の 3,452 件から減っている理由は、赤ちゃんの数が減っているためということでしょうか。 |
| 田中子ども・子育て課長 | (回答) 219 件の減少は出生数の減によるもののほか、対象乳幼児の中には、0 歳から既に保育園等に預けている家庭もあり、訪問したくてもできない家庭があるためである。さらに、訪問活動だけでなく、母子保健推進員が子育ての駅やコミセンに出向き、その場で様子を見ているため訪問しない場合もある。 |
| 高野委員 | (質問) 妊婦や乳幼児に会えているかどうかは確認しているのか。母子保健推進員の訪問のほか、保育園等からの情報も確認できているのか。 |
| 田中子ども・子育て課長 | (回答) 会えていないケースもあるが、その場合は電話など何らかの手段で様子の確認を行っている。 |
| 高野委員 | (質問) 子育て支援員について、昨年度に比べると人数が減っているようだが、今後の取組として、認定者に対して保育所等での就労を促していくところが重要であると考えているが、具体的にどのように就労を促しているのか。 |
| 長谷川保育課長 | (回答) 研修に市職員も参加し、修了者に対してぜひ保育園で働いてみませんかと働きかけることに尽きると考えている。このほか、処遇改善についても努力したい。研修を修了した方のうち、実際に就労に至ったのは 10~20% くらいである。 |
| 高野委員 | (質問) 10~20% という結果について、どう捉えているか。 |
| 長谷川保育課長 | (回答) 時間をかけて研修を開催しているので、その成果としては少ないと感じている。 |
| 高野委員 | (質問) 放課後児童クラブの利用について、小学校 1~3 年生は増加しているが、4~6 年生は減少している。この数字をどのように分析しているか。 |
| 田中子ども・子育て課長 | (回答) 小学校 1~3 年生の増加は、就労している家庭が増えていることが理由と考えている。小学校 4~6 年生については、主に発達に障害を抱える児童を受け入れている状況であるが、民間の放課後デイサービス及び通所支援事業所の利用が増えているため、児 |

| | |
|-------------|---|
| 熊倉委員長 | 童クラブの登録者が減少していると分析している。 |
| 田中子ども・子育て課長 | (質問) 小学校1～3年生の増加には、年度末の新型コロナウイルス感染症拡大に対する休校措置による影響は含まれているか。 |
| 高野委員 | (回答) 報告書の人数は年間の登録者数なので、利用者ではない。 |
| 田中子ども・子育て課長 | (質問) 子育ての駅運営委員会の運営委員について、構成員は母親だけか。父親は含まれているか。 |
| 高野委員 | (回答) 運営委員は公募で選出されているが、現在はほとんどが女性であり、子育ての駅利用者が多い。 |
| 田中子ども・子育て課長 | (意見) 報告書には「ママ目線」と記載があり、確かに母親目線は大事な要素ではあるが、父親目線も同様に重要である。父親も母親もともに子育てするまちであってほしいと考えている。運営委員に父親も加わることで新たな視点が加わると考えている。報告書の記載内容の修正を検討してほしい。 |
| 熊倉委員長 | (回答) 子ども・子育て会議の委員には、公募枠で男性が選出されている。今後も、母親目線だけでなく、父親目線も大事にしたいと考えている。 |
| 長谷川保育課長 | (質問) 医療的ケアが必要な児童について、今年度はどのように対応しているか。 |
| 熊倉委員長 | (回答) 保育課の看護師3名で対応する。 |
| 中山学校教育課長 | (質問) 胃ろうや痰の吸引は非常に神経を使う作業であるが、卒園後の義務教育段階での対応はどのように考えているのか。 |
| 金澤教育長 | (回答) 現在、特別支援学校に医療的ケアを必要とする児童が複数名いるが、看護師3名体制で支援している。 |
| 高野委員 | (回答) 合理的配慮を考えると、今後は通常の学校で受け入れてほしいとの希望が出てくる可能性がある。教育委員会では、保育園や幼稚園の段階で医療的ケアが必要な子どもを把握しているので、入学前に丁寧な相談を行いたいと考えている。今後、医療的ケアが必要な児童がいれば、学校へ看護師を配置する予算措置も検討したい。現状としては、子どものことを考えると、遠くても適切なケアを受けられる総合支援学校に通わせたいという相談が多い。 |
| | 【3 質の高い教育の推進】 |
| 高野委員 | (質問) 食物アレルギーについて、報告書の成果及び今後の取組等の項目に、「家庭科など食物アレルギーに関連する教科の学習を通じて」と記載されているが、具体例を聞かせてほしい。家庭科や総合学習の中で必ず取り扱うこととしているのか。それとも学校の |

| | |
|------------------------------|---|
| <p>笠井学務課長</p> | <p>判断で必要に応じて取り組んでいるものなのか。</p> <p>(回答) 教科の学習において、必ずアレルギーに関する学習を取り扱わなければならないということはないと認識している。</p> |
| <p>神林学校教育課主幹兼 管理指導主事</p> | <p>(回答) 小中学校の家庭科の授業において、カレーのパックを題材に、アレルギー物質の表示を確認するなどの事例はある。食物アレルギーの視点だけではないが、身近な食品や健康に関する授業はほとんどの学校で実施している。</p> |
| <p>高野委員</p> | <p>(意見) 自身の子どもの周りにも食物アレルギーを持つ子が増えている状況の中、食物アレルギーを持っている子どもと、持っていない子どもでアレルギーに関する知識や意識の差があると感じる。学校で学習をしていれば、例えば、子どもが家に遊びに来て、みんなでお菓子を食えるときに、このお菓子は食べられるかどうかをアレルギーを持つ子どもだけでなく、アレルギーを持たない子どもも判断することができ、命を守ることにつながる。子どもにアレルギーについて話す機会を設けるよう、教育委員会から各学校に働きかけをお願いしたい。</p> |
| <p>熊倉委員長</p> | <p>(意見) 報告書の記載では、教育委員会が教科の学習として実施するよう働きかけているように読み取れる。学校現場では、家庭科や保健の授業で養護教諭が食物アレルギーを題材とすることがある。教育委員会や養護教諭の研究会の中でプログラムを作って実施しているものもある。教育委員会としても、食物アレルギーに関する学習の実施について意識的に取り組んでほしいとの要望として受け止めてほしい。</p> <p>【4 生涯にわたるまなびの場の充実】 質疑なし</p> <p>【全体を通しての質問・意見】 質疑なし</p> <p>(2) その他 ・評価委員の意見提出について</p> |
| <p>熊倉委員長 委員</p> | <p>集約した意見の調整については、私と事務局とで調整するということがよいか。</p> <p>異議なし。</p> |

| | |
|------------|--------|
| | 6 閉会 |
| (出席委員の署名欄) | |
| 9 会議資料 | 別添のとおり |